



# あいインフォメーション

会澤工務店と全てのお客様とを結ぶミニ新聞

A I I N F O R M A T I O N



◀施工動画はこちら



本でご紹介するお住まいは三郷市のK様邸です。お父様と娘様世帯でお住まいになるとても素敵な二世帯住宅が完成しました。こちらには最新の設備や間取りの工夫による住み心地の良さ、昔から受け継がれてきた伝統がうまく共存しておりますので、少しご紹介させていただきます。

今回のお話は住み慣れた旧家の解体から、新居の建築までのご依頼を頂戴し、計画が始まりました。解体工事の際、お父様に旧家建築当時の写真や更に前のお住まいの写真などを見せていただきました。その時のお父様の顔はとても嬉しそうな表情だったことが印象に残っています。何十年も住み慣れた旧家への思い入れと、昔から受け継がれてきた伝統を強く感じることが出来ました。そのため旧家の欄間と書院障子を新居に受け継ぐことが決まりました。

解体工事が終わり、新居の工事も始まり約半年、素敵なお住まいが誕生しました。杉やカラマツの床材、珪藻土



の壁などの自然素材と全館空調システムにより心地好い空気環境を実現しています。玄関では意匠的に組まれた旧家の書院障子をご家族の一日をあたたく見守ります。こだわったキッチンには爽やかな雰囲気を出し、家事室は動線まで考えられた使い勝手の良さ。娘様に多くのアイデアをいただきました。和室とお父様の寝室は続き間にし、いつでも旧家の欄間を感じる事ができます。

これからも昔から受け継がれた大切な想いを感じながら、住み心地の良いお住まいをご家族の笑顔でいっぱいしてください。そして今は小学生のお孫さんが大人になり、このお住まいの写真を誰かに見せながら大切な想いや歴史を繋いでくれたら嬉しい限りです。  
(営業部 小谷野)

# はじめての 端材販売

会澤工務店初の試み、『端材販売』を夏に開催しました。

SDGsに積極的に関わり、廃棄コストの削減や建設リサイクルを推進したいと考え開催を企画しましたが、初めてのことでしたので準備はうまくできるのか、お客様が来てくれるのか内心ドキドキしております。しかし、そんな緊張とは裏腹に、当日は想像していたよりも、たくさんのお客様にご来場いただくことができました。更に、「チラシを見てくださいました」「ホームページを見ました」と、お声をかけていただけただけで本当に嬉しかったです。

第二回につきましては未定ですが、イベントに関しては引き続きインスタグラムやホームページにてお知らせして参りますので、是非ご覧いただければと思います。

(営業部 菅原)



## 木の家のふるさとから

台風14号が非常に強い勢力で上陸し、各地で大きな被害ができました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈りいたします。

今年には台風だけではなく記録的な猛暑が続いたり集中豪雨が起きたりと異常気象による天災に見舞われております。和歌山県も例外ではなく、猛暑・集中豪雨だったり、台風の通り道として毎年被害に悩まされています。山林の台風被害では強風によって樹木が根元から倒れたり、途中から折れたり被害がでます。風によって樹木が倒されることを「風倒木」と言います。50年〜60年育て伐期を迎えた木も例外ではなく、被害を受ける

こともあります。風倒木となった木は、折れやすく構造材としては使えません。祖父が植えた父が育んできた山林。無情にも倒れてしまう木もありますが、強く強く耐える木もあります。天災はどうすることもできないですが、50年〜60年様々な苦難を乗り越え育った木は、皆様の家の構造材として100年200年と守り生き続けます。

これからも高品質な木を育て安心して使って頂ける構造材を山長グループとして提供していきます。

(モック株式会社 池村)

## NEWS



※画像はイメージです

会澤工務店の新モデルハウスが2023年春に吉川市美南エリアに誕生します！

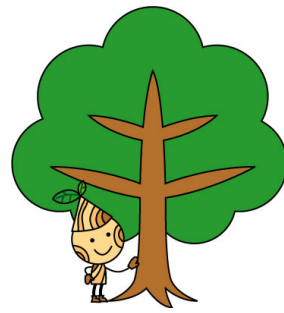
『小さくても豊かな暮らし』をテーマにお家にいる時間が長くなったこの世の中、限られた空間を有効活用し、小さくても豊かに暮らせる家づくりを目指します。

今後の予定などは、HPやInstagramで引き続き情報発信して参りますので、是非チェックお願いいたします！

# 社員コラム

建設部の一戸です。何度かこのインフォメーションにも掲載させて頂きましたが、悪質業者と思われる者が、弊社施工エリアを回っているようです。当社にもOB様より幾度もご連絡があります。

一番多いのが、瓦屋根の不具合を指摘するものです。手口としては、近くで現場をしており「お宅の屋根がずれているの見える」とか、「漆喰がボロボロ」と言う感じのものが多いようです。その後、私共の方で確認を致しましたがいずれも割れたり、ずれていた事はありませんし、そもそも2.3軒先のお宅の屋根をしっかりと見る事など出来ません。又、漆喰の崩れは下から見れば分かります。指摘されても今日明日崩れるとは考えにくいので、まずは落ち着いて当社にご連絡いただければ幸いです。他にも、床下の点検を無料で行うと言い、別の現場の床下（シロアリがいる）写真を見せたりする者もいるようです。いずれにしましても、ご自身で確認出来ない場所を指摘された場合は屋根にあげたり、床下に入れたりしないようお願いいたします。（建設部 一戸）



# 貸貸部 たより



こんにちは三郷営業所の高橋です。  
2020年から新型コロナウイルスの感染拡大で多くの企業でリモート・テレワークが普及し地方移住をされる方が急増していると感じました。地方移住に少し興味があったので、軽く調べたところ、移住する地域によって制度は異なるようですが、補助金や助成金などはどこの地域でもほぼ対応しています。中には、無料で家がもらえたり、仕事の紹介をしてくれたりとかかなり手厚い支援が付いている地域も有りました。  
ご興味を持たれた方は是非、希望地域や支援制度など調べてみては、いかがでしょうか。  
意外と楽しいですよ。  
(貸貸部 高橋)



# こやさん歩



皆さんこんにちは。私の妻は長野県長野市の出身です。その為、帰省も兼ねて年に数回長野県へ赴きます。今年の夏は諏訪湖周辺を散策しました。神社好きの私にとって諏訪湖周辺といえば「諏訪大社」です。「御柱祭」や「御頭祭」など他ではあまり見られない信仰は、とても魅力的です。諏訪湖周辺では高度な縄文文化が発達し、そこから綿々と受け継がれた文化、信仰が現在に残っていると考えると胸が熱くなりました。諏訪大社は諏訪湖周辺に4か所あり、残念ながら2か所まわったところですべての時間を使い

終えました。御柱や社殿には驚かされました。

それと同時に大変なことに気づきました。お洒落なカフェなどにも行きたがっていた妻の気持ちを一切考えず、諏訪大社の荘厳さで一人満たされ気持ちよくなっている私と、訳も分からず私に抱っこされる息子がそこにいたのです。次回は行けなかった神社、資料館、そしてお洒落な雑貨屋さんやカフェにも行きたいです。とてもいいところですので、ぜひ皆様も足を運んでみてください。今回の旅のBGMは葛城ユキさんの「木曾は山の中」です。

(営業部 小谷野)



# 華子の部屋

近年、自宅にテレビがないという若者が増えているのはご存知でしょうか？

若者のテレビ離れが増える理由としてはインターネットやSNSの普及、単にテレビがつまらなくなったりなどが挙げられるようです。ソーシャルメディアの利用率が高まる中、私自身、現在ラジオにハマっているため、今回はそのことについてお話しさせて頂ければと思います。

ミーハーなわけではありませんが、私の家にもテレビはありません。以前一人暮らしをしていた際に購入したテレビは、実家に戻るタイミングで姉夫婦に譲りました。前回お話ししたように、6月から一人暮らしを再開したのですが、まだ新しいテレビの購入には至っておらず、初めて一人暮らしをした際に購入したGoogleスピーカーに頼りつきりです。

テレビの代わりとして、Googleスピーカーをメインで使用してから、ラジオをたくさん聴くようになりました。Googleスピーカーは、周波数又はチャンネル名を言えば聞きたいラジオを流してくれます。

ラジオと聞くと、少し古臭さや、昭和レトロなイメージを持つ人も

いるかと思えます。

ラジオの魅力は様々ですが、私が一番いいと感じることはやはり親近感と心地よさです。パーソナリティの声や話し方は生活に馴染む程、安定しており癒されますし、時々流れる音楽も過ごす時間を彩るコンテツとなり、生活がとて楽しく感じます。併せて聴く力と記憶力の向上にも繋がるので、一石二鳥とも言えます。更に、私は東北出身で東日本大震災を経験しておりますが、電気が繋がらなかつたあの時は、ラジオに本当に助けられました。

ラジオを聴いている若者は少数派で、時代の流れと共に国全体のラジオ普及率も右肩下がりであります。近い将来、テレビを購入することがあっても私は、ラジオを聴き続けたいと思っています。皆様もぜひラジオに懐かしみ、生活の一部に取り入れてみてはいかがでしょうか。(営業部 菅原)



(お知らせ)

**Instagram**  
やっています！  
＼木心地のいい家づくりや地域の魅力を発信中／

フォローといいね  
お願いします！

◀ QRコードをチェック！




～ 雑学クイズ ～

この漢字は何と読むでしょうか

『萵苣』

1. パクチー
2. キャベツ
3. レタス

答えは前ページ  
『こやさん歩』の人に注目！




このまちの暮らしを紡ぐ。

株式会社 会澤工務店



0120-535-388

<https://aizawakomuten.jp/>

